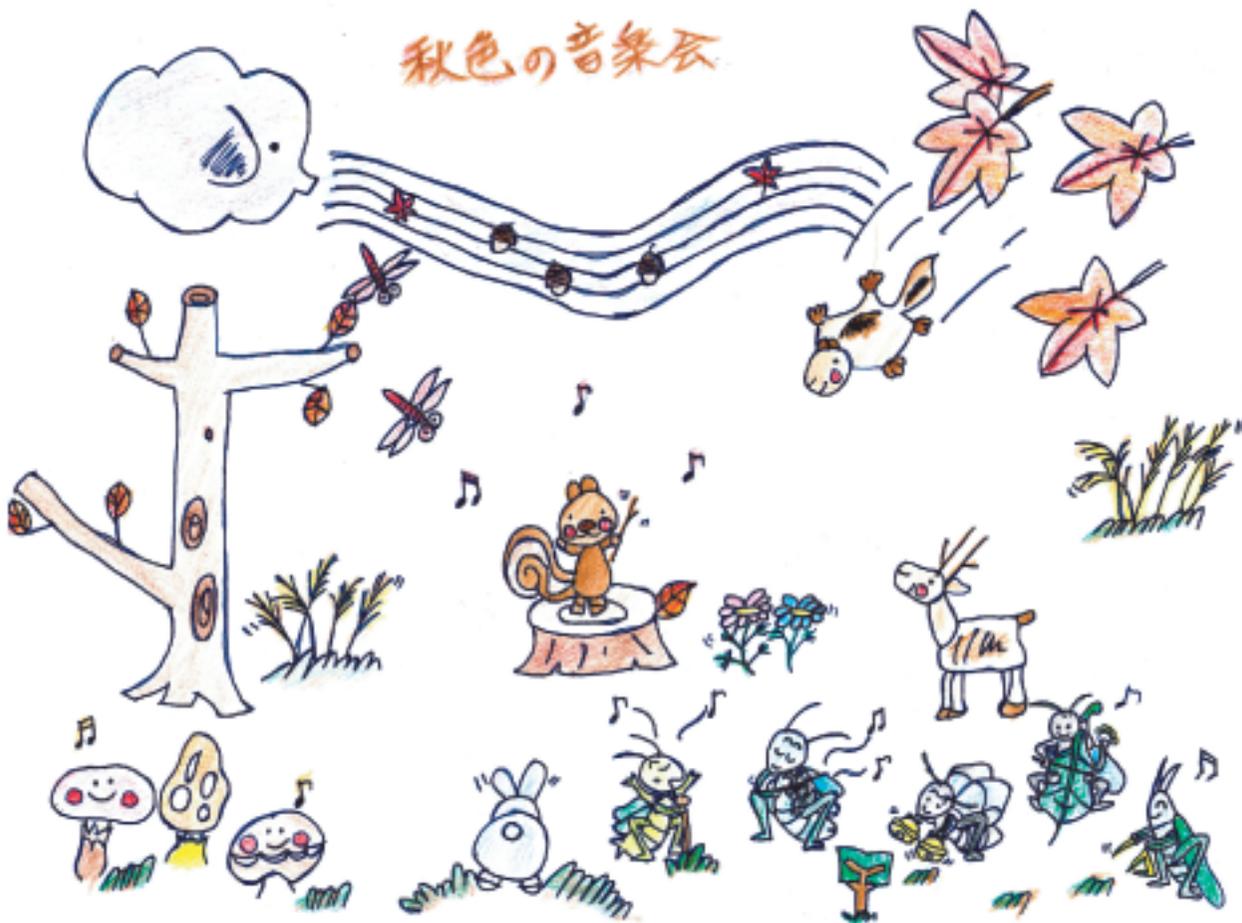


# 森のおくりもの10月



## 秋色の音楽会



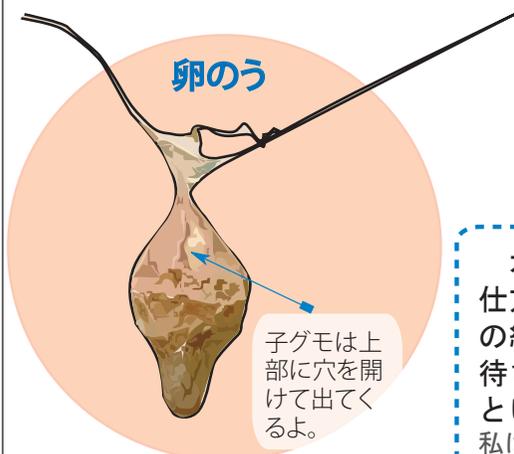
イラスト：山田弘子さん（若林区）

今年の長かった残暑もやっと終わりました。気温はなんとか平年なみまで下がり、それに伴い、自然観察の森はいよいよ本格的な秋に突入することになります。多くの皆様に、この森の豊かな秋を感じていただけますようお願いしております。  
(館長 菊池)



少し秋を感じられるようになった観察の森では、所々にクモやカマキリの『卵のう』が見られるようになってきました。そこで、今回は「これなーに」とよく聞かれる、繭のような卵のうを作る主「オオトリノフンダマシ」の紹介です。

繭じゃないよ卵ケースだよ



卵のう

子グモは上部に穴を開けて出てくるよ。

多くのクモはお尻に糸を出す「糸イボ」が3対あり、用途によって使い分けています。真ん中と後ろのイボから「卵のう糸」を出し、黄色い卵をすばやく包み込んで卵のうを作ります。孵化した子グモは次の脱皮まで卵のうから出てきません。2齢になってから外へ出てきません。3齢になると毒腺が発達して自分で虫が倒せるようになり、分散します。

オオトリノフンダマシの幼体や目の狩りの仕方はおもしろく、円い網を張りません。葉の縁や糸に吊下がり、前の4本脚で万歳をして待ち伏せ、飛んできた虫を直接キャッチするという方法をとります。キャッチボールが苦手な私はきっと生きていけないでしょうね・・・

成体の♀は、名前の由来である「鳥の糞」というより、まるでカマキリか、宇宙人？を連想させる不思議な模様の体。みなさんは何を連想しますか？

昼間は葉の裏でじっとして、夜になると水平の円網を張ってエサを待ち構えます。横糸の数が少ない分、粘性と強度が高いのが特徴です。

網に餌がかかると、たて糸にくっついて横糸の片方だけが切れるように造られていて、かかった餌は切れた糸が絡まり逃げられず、一本の横糸で宙ぶりの状態になるのです。明け方になると網は回収されるので、この狩り(?)を観察できるのは夜限定です。

### オオトリノフンダマシ 成体♀



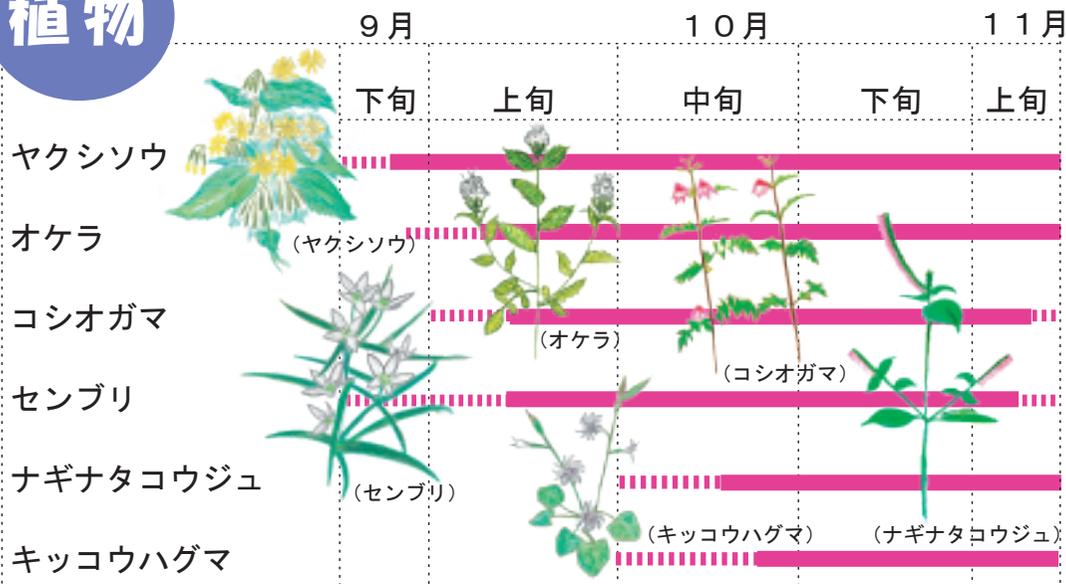
三角の体の形もカマキリの顔の形と一緒。ほら、だんだんぐるぐる模様がカマキリの目にみえてく〜る...

【レンジャー：黒川 周子】

\*オオトリノフンダマシの成体が見られるのは夏です。来年の夜の観察会で見られるといいなあ。

# 10月の生物ごよみ

## 植物

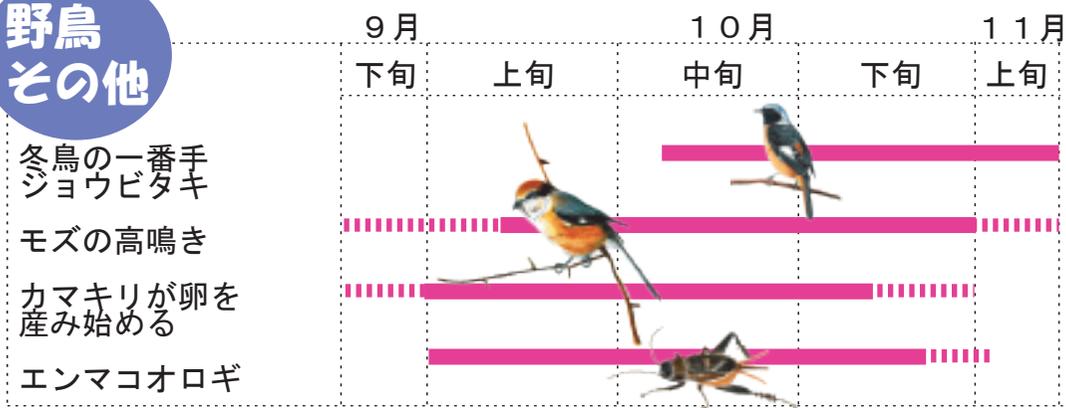


今年は9月なかばを過ぎても30度を超える日が連日と続き本当に暑い夏でした。そんな暑さのせいか紅葉になる前に枯れた状態で葉っぱが落ちていたり、実のなりがいまひとつだったり、キノコが少なかったりといろいろな影響がでているようです。雨が少ないので水不足も心配です。

そんな中、センター前のエノキの葉にオオムラサキが卵を産み、その幼虫が元気に育っています。オオムラサキは日本の国蝶でもあり、里山を代表する蝶でもあります。そんな蝶が最近では少なくなっている中、センター前で卵を産んでくれたのはとても嬉しいニュースです。また来年も、いやこれからもずっと見られるように是非元気に育ててほしいものです。

【レンジャー：齋 正宏】

## 野鳥 その他



# レンジャー花 木もれび BLOG

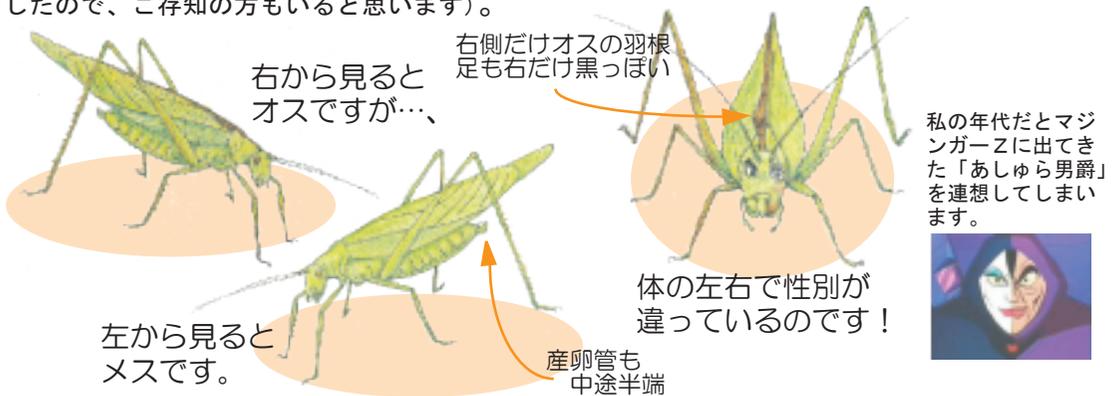


略してコモブロ 第5回『見逃さないでよく見よう!』

今年の夏は忘れられない暑さでしたが、そんな暑い9月のある日、いつものように遠藤ます子さんがふらりと自然観察センターを尋ねてきました（遠藤さんは250号にも記事を寄せて下さったチャーミングなお婆あちゃんです）。

「ツユムシをつかまえたけど、これはオスカねえ?」「どれどれ?」と黒川レンジャーがのぞき込みます。「ん?なんか変だな?」虫が超大好きでめっちゃくわしい黒川レンジャーが異常に気づきました。

遠藤さんがつかまえたツユムシは、普通にみられるセスジツユムシだったけど、ナント! オスとメスの両方の体を持つ「雌雄モザイク型」という、とっっても珍しい個体だったのです（東北放送や河北新報でも紹介されましたので、ご存知の方もいると思います）。

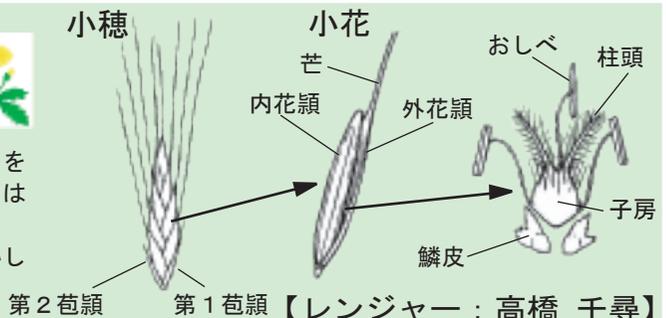


この個体は、オスの羽根が片方しかないから鳴くこともできませんし産卵管も不完全なので卵を産むこともできません。そう考えるとちょっとカワイソウに思えてしまいます。

普段何気なく眺めている自然の中にも、学者のセンセイが驚くようなことがひそんでいるんですね。皆さんも「な～んだアリか」とか「あ、トンボね」で終わらずに、「ちょっと待てよ?」という気持ちで自然を見るようにしてみませんか。大変な発見をするかもしれませんよ。

## 自然観察 基礎のきそ

あえて、図鑑の一番最初に載っていることを取り上げ、初心に帰るこのコーナー。今月は『イネ科の花のつくり』です。お米もイネ科の植物。実りに感謝しておいしくいただきますよ!



## 「長い残暑が終わり、ついに恵みの秋に突入です！」

記録的な残暑は、森の季節の変化にブレーキをかけておりましたが、遅れていた秋も9月末の残暑の終わりとともにやっと進みだしたようです。

さて、秋といえば実りの秋です。自然観察の森でも、クリなどの木々がたくさんの実をつけております。

そして、もうひとつの秋の恵みと言えばキノコです。しかし、観察の森の園内では、自然のままの姿でより多くの皆様にご覧いただけますようキノコ狩りを禁止させていただいております。

とはいえ、キノコの観察には、どうしても採取し、五感をはたらかせ鑑別する必要があります。

特に視覚は、色、形、模様、傷ついた部分の変色、傷ついた時の分泌液の色や変化などを見極めるために重要となります。さらに、つぼ、つば、ひだの有無や特徴を観察することも重要なポイントとなります。

触覚は、表面の様子や粘性などを見極めるために、また、においも重要なチェックポイントとなり臭覚も必要となります。

さらに、キノコの鑑別では味覚を駆使することがよくあります。キノコの種類によっては大きなリスクもあり危険ですが、少量をかじってみて、苦いか辛いかなどを調べて判断材料にすることもあります。

これらのことを考え合わせると、やはり、キノコの鑑別には採取が必須条件となるかもしれません。したがって、採取禁止の自然観察の森では、残念ながらキノコの詳細な鑑別は少々無理があるかもしれません。実際のところ、私たち自然観察の森の職員にとってもキノコは泣き所となっております。しかし、多くの種類のキノコが園内に発生している以上、できる限り調査を行い解説してまいりたいと思っております。

ところで、キノコについては、とにかく食べられるか毒キノコかということが中心になりがちです。ここで注意しなければならないのは第六感です。ことキノコに限っては、この第六感は非常に危険です。単に食べられそうだからなどというのは絶対禁物です。

また、最近では、これまで食用キノコとされていた種類でも中毒例が確認されたり、毒成分が見つかったりし、要注意とか毒キノコに扱われているものも多くなってきております。観察の森で観察するだけなら、たとえ毒キノコであっても絶対に安全です。多くの皆様に秋の森の恵みをたくさん観察していただけますよう願っております。 【館長：菊池 正行】



# 10月のイベント

	10/20(土) 10:00~11:30	10/27(土) 9:30~15:30	11/3(祝) 10:00~15:00
	『きのこ観察会』	蕃山で見つけよう! 自然の宝物	鈎取山ハイク・ 森の不思議再発見!
内容	自然観察の森に生えるキノコを楽しく観察しながら歩きます。	森を歩くのが楽しくて仕方ない講師が蕃山をガイドします。	やさしい秋風がふく原生林で自然の不思議を楽しめます
定員	キノコに興味のある方 20名(先着)	小学生以上の子供と保護者 20名(多数の場合抽選)	秋の爽やかさを感じたい方 20名(多数の場合抽選)
集合	自然観察センター	茂庭台市民センター	自然観察センター
持物	雨具、動きやすい服装で	昼食、飲み物、雨具、 動きやすい服装で	昼食、飲み物、雨具、 動きやすい服装で
申込	10/6(土)午前9時から 電話にて受付開始	メール、FAX、往復はがきで 10/17(水)必着	メール、FAX、往復はがきで 10/23(火)必着



●申込み時の必要事項：①イベントタイトル②参加者全員の氏名、年齢③〒と住所  
④連絡先 ※往復はがきの場合、返信先も記入して下さい。

毎週  
日曜は

## 『ガイドウォーク』の日!

10月のテーマは『たねの旅立ち』です

実施日：7日、14日、21日、28日

10:00~11:30 & 13:30~15:00

申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。

●28日の午後は館長によるガイドウォーク  
「館長と森を歩こう」です。

## 10月の休館日

1日、15日、  
22日、29日



表紙の絵や  
原稿を募集  
しています。

里山や自然に関するものを  
描いて(書いて)ね!  
レンジャーからのプレゼント  
があるよ!!

## ♪森へおいでください♪



### 宮城交通バスの場合

仙台駅前バスプール7番 または 長町駅前から  
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り  
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター



### お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。  
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



Webから「森のおくりもの」が  
カラーでご覧になれます。

「**太白山 森のおくりもの**」で検索。

「社のひろば」のURL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>

2012年10月号(毎月1回5日発行)

発行：(公財)仙台市公園緑地協会

編集：仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター

〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

E-mail: [taihakusan\\_moushikomi@sendai-green-association.jp](mailto:taihakusan_moushikomi@sendai-green-association.jp)

### 定期購読のお知らせ

住所・氏名・電話番号と、何月号から希望かを明記のうえ、80円切手12枚を同封して、自然観察センターまでお申し込みください。